

(写真3 翻刻)

理由書

当農場ハ明治二十九年貸付許可相成、明治三十年始メテ内地ニ小作人ヲ募集シ開墾ニ着手シタリ、然ルニ小作人タルヤ募集ノ当時ニ於テ渡航費ヲ貸与シ、且開墾ニ着手成功セシムルニハ尚二ケ年間ハ食費ヲ無利子ニテ貸与シ、三ケ年目ヨリ四年賦ヲ以テ返納スルコトトナシタリ、然ルニ明治三十一年九月ノ大洪水ハ当初ノ目的ヲ阻害スルニ至リ、今日ニ於テ各小作人ニ貸与シタル食費尚多キハ式百円以上少ナキモ百円内外ノ負債ヲ有シ各債務ヲ果ス能ハズ、加フルニ農場ノ地味タル疲瘠ニシテ、一ケ年尅段歩各穀類ヲ通ジテ僅々尅斗式升乃至式斗ノ收穫タリ、故ニ昨廿六年迄ハ支出ノミニシテ、収入ハ更ニ見ル能ハズ、偶若干ノ収入スル処アルモ、固ト小作人負債ノ償還ニ充テタルモノアルノミ、農場主ニ於テモ大ニ考フル処アリシモ、本年ヨリ多少小作料徴収ノ見込ナルヲ以テ本年度ハ全然所得ナシト云フヲ得ズト雖モ、小作料ヲ徴収シ得ル畑ハ全地四〇〇町歩ノ内付与後荒蕪ニ属シタルモノ、又薪炭用地其他小作証書ニ基キテ分割給与シタル土地等ヲ除キ、式百五拾町歩ヲ超ユルモ極メテ僅少ナリ、而シテ尅段歩ノ小作料ハ八拾錢内外ナルガ小作怠納旁々全ク之ヲ実収スルモノ尚尅千五百円ニ過ズ、該收入中ヨリ事務所費及管理ニ要スル費用ヲ去レバ僅々タルモノニシテ、目下ノ小作收入等ハ農場ノ維持費ニモ尚不足ヲ生ズル場合ニ付キ、他ニ牛五頭・馬五頭ヲ所有スルモ収入ノ財源トシテ所得中ニ加フルニ足ラズ、故ニ御決定ノ所得額ニハ服シ兼タル次第第二御座候

審査要求ノ理由如斯ニ御座候也

右

土田庫吉<sup>印</sup>

〔朱書〕  
「小作証写」

証

第一条配当ヲ受ケタル地積ハ五ケ年間ニ悉皆開墾スベシ、若シ年限内ニ成功セザルトキハ返納ヲ命ゼラル、モ故障ヲ申立ザルベシ

第二条他人ノ土地ヲ小作シ、或ハ承諾ヲ經スシテ他ノ業務ニ従事シ、又ハ小(作納ヲ)転貸致サザルベシ第三条土地ノ永遠ニ閑スル変更ハ御指揮ヲ經ベシ

第四条小作料ハ一反歩ニ付左ノ割合ヲ以テ毎年十一月三十日限り相納ムベシ

- 三年目 尅町歩金八円但、一反歩ニ付金八拾錢
- 四年目
- 五年目
- 六年目
- 七年目
- 八年目
- 九年目
- 十年目

第五条米・麦・味噌ハ三ヶ年目ヨリ四ヶ年賦ニ返納スベシ

第六条其他ノ借入金ハ収穫ノ際毎年十一月三十日限り返納スベシ

第七条地主ノ義務ニ属スル件左ノ如シ

一 配当地積ハ何坪トス

一米・麦・味噌ハ三ヶ年目ヨリ無利息四ヶ年賦ヲ以テ貸与ス

一 開墾料ハ老段歩ニ付金老円給与ス 但、貸与金其他年賦  
金返金際引去ルコト

一 土地成功払下後負債ノ義務ヲ終リタル者ニ対シ配当地積ノ三分

ノ一ヲ分割給与ス 但、給与ノ地ハ  
開墾料ニ給セズ

土田農場主

土田庫吉 印